



大樹のこころ

150周年記念運動会

150周年というめでたい年。そこで行われる運動会はただの運動会ではありません。今年の運動会は「150周年記念運動会」と銘打って行われました。本校の開校を祝福してくれるかのような素晴らしい天候の下、子供たちが、運動場で躍動しました。

大玉転がしは、全校児童参加の競技です。シンプルながら大いに盛り上がります。白玉・赤玉の進み具合に保護者を含めた全校が一喜一憂しました。ここから記念運動会が始まりました。1・2年生の徒競走では、一生懸命走る子供たちの姿に、思わず微笑みが出てしまいます。3～6年生の学級対抗リレーになると、微笑みから一転、必死の大声援へと変わります。クラスの友達を声を枯らして応援する様子を見ると、学校の素晴らしさを再認識してしまいます。

表現ダンスでは、各学年の発達段階に応じた成果が見られました。1・2年生の「194のドッキドキ」。素晴らしいのは、何と言っても子供たちの表情です。「踊るのが楽しくてたまらない」といった心の声が聞こえてきそうでした。

3・4年生の「全力で心をつなげ 一天濤快」は、とてもレベルの高い踊りに挑戦しました。他校では高学年で踊ることの多いものです。かなり激しいダンスで、指揮台の上で踊る先生もバテてしまうぐらいハードです。それをキレキレの動きで踊り切った子供たちに拍手です。

そして5・6年生の「野外劇 家康の自立」。「150周年を記念して例年以上に派手にやってほしい」と高学年の先生方にはお願いしていました。それを受けて今年は大刷新。家康の鎧兜も新調し、音楽も大河ドラマ「どうする家康」の主題曲に変えました。子供たちも意欲的で、今日の発表になりました。自分は何度も練習で演技を見てきましたが、今日は最高の出来でした。見ていて心から感動しました。

今年の運動会、一つだけ残念なことが。実は、岡崎市の家康行列に参加する「どうする家康」に出演中の役者さんたちが、本校を訪れる予定となっていました。これは「極秘プロジェクト」として1学期から進められていました。ところがスケジュールの関係で、10月になってからキャンセルとなってしまいました。ああ、無念(泣)。大樹寺小の子供たちの姿を見てほしかったです。

とは言え、中日新聞を始めマスコミ各社も訪れた150周年記念運動会。大成功でした。この勢いのままに12月2日(土)の開校記念日に向けて走り抜けていきたいです。

